

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	医療法人社団EMIFULL 児童発達支援・放課後等デイサービス カラダキッズかこがわ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「安心して通所している」95%、「通所を楽しみにしている」95%、「満足している」89%と高評価 日々の支援が子どもの情緒の安定につながっており、信頼関係を基盤とした支援が実践できていることが本事業所の大きな強みである。	週1回の会議を実施し、活動プログラムでは役割分担を行っている。 また、ケース記録を用いた日々の行動観察も行われており、チームで子どもの状況を共有しながら支援を行う体制づくりを意識している。	家族支援プログラムの実施について「ある」と回答した保護者は21%にとどまっている。今後は実施回数を明確化し、年間計画として保護者へ周知することが必要である。
2	支援計画の説明100%、利用時の説明100% アセスメント・計画作成は職員100%実施 個別支援計画に基づく体系的な支援が実施されており、支援の透明性と説明責任が確保されている点は今後も維持・強化すべき強みである。	インスタグラム等を活用した情報発信を行っている。 さらに、送迎時に保護者へ口頭で様子を伝えるなど、日常的な対話を通じて情報共有を図っているとの意見もある。日々の小さな共有を大切にしている点の特徴である。	地域で他児と交流する機会について「ある」は26%にとどまっている。近隣園との情報交換や合同活動、就学先との引継ぎ体制の整備などを段階的に進める必要がある。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の振り返り実施は40%にとどまっている。支援の質をさらに高めるためには、日々の振り返りと計画共有の徹底が課題である。	法人の譲渡や人事の入れ替りなど、運営体制の安定性が信頼構築に影響を及ぼしている可能性がある。	毎日の終礼での振り返りを必須とし、記録を残す仕組みを整備する。 支援計画の目標を職員全員が確認できる共有システムを構築する。
2	個人情報については95%が「十分留意されている」と回答しているが、より情報発信と個人情報保護の両立が課題である。		管理者変更時には説明文書の配布や保護者へ周知できる安心感の維持に努める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カラダキッズかこがわ

公表日 2026年 2月 16日

利用児童数 2026年 1月 5日 回収数 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (19名)	0%	0%	0%	・広々とした空間でのびのびできる	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	84% (16名)	0%	5% (1名)	11% (2名)	・中に入ることがないので分からない	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89% (17名)	0%	0%	1名)	・中に入ることがないので分からない	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	84% (16名)	11% (2名)	0%	5% (1名)	・中に入ることがないので分からない	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	89% (17名)	5% (1名)	5% (1名)	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	84% (16名)	5% (1名)	0%	11% (2名)		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	89% (17名)	11% (2名)	0%	0%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	84% (16名)	11% (1名)	11% (1名)	11% (1名)		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	84% (16名)	5% (1名)	0%	11% (2名)		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	79% (15名)	0%	0%	21% (4名)		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	26% (5名)	0%	11% (2名)	63% (12名)		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (19名)	0%	0%	0%		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (19名)	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21% (4名)	0%	21% (4名)	58% (11名)		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	89% (17名)	5.5% (1名)	5.5% (1名)	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	79% (15名)	0%	10.5% (2名)	10.5% (2名)		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	89% (17名)	0%	5.5% (1名)	5.5% (1名)	・送り迎えの際にお話がある	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26% (5名)	5% (1名)	32% (6名)	37% (7名)		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84% (16名)	5.3% (1名)	5.3% (1名)	5.3% (1名)	・来年度の調整で話を聞いてもらった	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	89% (17名)	0%	5.5% (1名)	5.5% (1名)		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	79% (15名)	0%	5.3% (1名)	15.7% (3名)		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95% (18名)	0%	5% (1名)	0%	・SNSに無許可で写真の掲載があった		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	84.5% (16名)	0%	5% (1名)	10.5% (2名)		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	79% (15名)	0%	0%	21% (4名)		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84.5% (16名)	0%	0%	15.5% (3名)		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	74% (14名)	0%	0%	26% (5名)		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95% (18名)	5% (1名)	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	95% (18名)	5% (1名)	0%	0%	・利用の日はとても嬉しそう	
	29	事業所の支援に満足していますか。	89% (17名)	5.5% (1名)	5.5% (1名)	0%	・通わせてよかった ・支援には満足しているが、管理者が何 度も変わり慣れるのに負担がある	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		カラダキッズかこがわ					公表日	2026年 2月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% (5名)						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100% (5名)						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100% (5名)						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (5名)						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (5名)						
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80% (4名)	20% (1名)	週一回の会議を実施	個々での伝達はあるが全体で共有できる時間の確保をしていきたい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80% (4名)						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80% (4名)	20% (1名)					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80% (4名)	20% (1名)					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (5名)						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (5名)						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100% (5名)						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	60% (3名)	40% (2名)		複数で確認はしているが、今後は職員全員で共有できるようにする			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	60% (3名)	40% (2名)	本人支援の目標が確認できるシステムを構築している				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (5名)		ケース記録を用いた行動観察を行っている				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (5名)						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	60% (3名)	40% (2名)		役割分担を行っている。 共有に欠ける場合がある。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (5名)			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100% (5名)			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60% (3名)	40% (2名)		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40% (2名)	60% (3名)		問題行動や共有事項について職員間でさらに確認ができる時間を設けたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (5名)			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (5名)			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (5名)			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20% (1名)	80% (4名)		現時点では実施できていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		100% (5名)		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40% (2名)	60% (3名)		現時点では実施していない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (5名)				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100% (5名)		年二回の実施を行っていきたい	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (5名)			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (5名)			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (5名)			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60% (3名)	40% (2名)		現段階では実施に至っていない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (5名)			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (5名)		インスタグラムの発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (5名)			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (5名)			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60% (3名)	40% (2名)		現段階では実施していない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (5名)			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (5名)			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60% (3名)	40% (2名)	緊急時の避難先を計画書へ記載している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (5名)			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (5名)			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (5名)				

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	医療法人社団EMIFULL 児童発達支援・放課後等デイサービス カラダキッズかこがわ			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～	2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～	2026年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは「専門性のある支援が受けられている」97%、「計画に沿った支援が行われている」100%と高い評価を得ており、個別支援計画に基づく丁寧な支援体制が強みである 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているとの評価が保護者93%、職員100%であり、多様な活動提供を意識している 	<ul style="list-style-type: none"> 計画作成時の全職員共有や、支援前後の打合せ実施率が40%にとどまっているため、定例ミーティング時間の確保やICT活用による共有体制の整備が必要である。
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースや生活空間の確保、清潔さについて保護者評価は100%と非常に高い。 職員側も環境整備に関する項目は全て100%であり、日々の清掃や構造化された空間づくりが徹底されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の詳細なフィードバックや相談対応について高い評価(97%)を得ている。 通信やSNS等での情報発信も実施しており、外部への透明性確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの実施は20%にとどまっており、保護者アンケートでも家族交流支援は低評価である。 ペアレントトレーニングや保護者会、きょうだい支援イベント等の実施を検討することで支援の幅を広げられる。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子どもの交流機会について保護者評価は24%、職員評価も20%と低い。 地域との接点が限定的であり、社会参加支援の面で課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議時間の不足や時短勤務者の存在により、全体共有の機会が十分に確保できていない 日々の支援業務を優先する中で、振り返りや検証の時間確保が難しい構造的要因がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で全員が参加できる定例ミーティングの設定や、記録共有ツールの活用により情報共有の標準化を図る。 個別支援計画の要点を簡潔に共有する仕組みを作り、支援の質の均一化を目指す。
2	<ul style="list-style-type: none"> 支援前後の打合せ実施率が40%にとどまり、「時間が短い」「時短職員がいる」との課題が挙げられている。 個別支援計画の共有不足が支援の質の均一化に影響を及ぼす可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流を「現段階では実施していない」との回答があり、具体的な連携先や機会設定が未整備である。 家族支援も同様に、体制やノウハウ不足が要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年1～2回の保護者交流会やミニ研修会の開催から着手し、段階的に家族支援を拡充する。 地域児童館や学校行事との合同イベントなど、小規模な交流機会を試行的に実施する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カラダキッズかこがわ

公表日 2026年2月16日

利用児童数 2026年1月5日

回収数 29名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (29名)					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	97% (28名)			3% (1名)		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100% (29名)					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100% (29名)					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97% (28名)	3% (1名)				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100% (29名)					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	97% (28名)	3% (1名)				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93% (27名)	3.5% (1名)		3.5% (1名)	・ガイドラインの内容をしっかりと理解できていないため	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (29名)					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93% (27名)	3.5% (1名)		3.5% (1名)	・様々な活動内容に大変満足している	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				24% (7名)	52% (15名)	・地域の他の子どもとの交流はあまり聞かないため
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (29名)					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	97% (28名)	3% (1名)				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		7% (2名)	10% (3名)	28% (8名)		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	97% (28名)	3% (1名)			・送迎時に活動の様子などを詳しく教えていただき、相談もできて夕助かっている	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	97% (28名)	3% (1名)				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	97% (28名)	3% (1名)				・なわとびの練習に行き詰まり、利用時に見てもらおうと自己記録を更新できた
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		10% (3名)	21% (6名)	38% (11名)		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93% (27名)	3.5% (1名)	3.5% (1名)			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97% (28名)	3% (1名)				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	86% (25名)	7% (2名)		7% (2名)		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90% (26名)			10% (3名)		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	86% (25名)	10.5% (3名)		3.5% (1名)		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	83% (24名)			17% (5名)		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	83% (24名)	10% (3名)		7% (2名)		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		7% (2名)		14% (4名)		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	97% (28名)			3% (1名)		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93% (27名)			7% (2名)		・設備やプログラム等が本人にマッチして楽しく通所している
	29	事業所の支援に満足していますか。	97% (28名)			3% (1名)		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		カラダキッズかこがわ					公表日	2026年 2月 16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% (5名)		プログラムに応じて、グループ分けを実施			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100% (5名)					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100% (5名)					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (5名)		毎日の清掃を徹底。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (5名)					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80% (4名)	20% (1名)				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (5名)					
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80% (4名)	20% (1名)				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80% (4名)	20% (1名)				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (5名)					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (5名)					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100% (5名)					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	40% (2名)	60% (3名)			児発管のみの把握に留まっている場面がある。 ミーティングを通して共有機会を増やす。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	40% (2名)	60% (3名)			十分な時間の確保ができない場合が多い。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (5名)					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (5名)			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	60% (3名)	40% (2名)	立案者は固定化されているが、部分的なプログラムの変更や意見交換は実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (5名)			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100% (5名)			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	40% (2名)	60% (3名)		会議の時間が短い、時短職員もいることから全体の共有機会が十分に取れていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40% (2名)	60% (3名)		会議の時間が短い、時短職員もいることから全体の共有機会が十分に取れていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (5名)			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (5名)			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (5名)			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	40% (2名)	60% (3名)	ウェルビーラーニングを実施している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20% (1名)	80% (4名)		現段階では実施していない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100% (5名)		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (5名)			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20% (1名)	80% (4名)		現段階では実施していない。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (5名)			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100% (5名)			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80% (4名)	20% (1名)		立場や役割によって偏りがある
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40% (2名)	60% (3名)		現段階では実施していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (5名)			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100% (5名)			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (5名)			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (5名)			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40% (2名)	60% (3名)		現段階では実施していない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (5名)			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100% (5名)			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (5名)			アレルギー児におやつ提供は行っていない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80% (4名)	20% (1名)		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100% (5名)			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (5名)			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (5名)			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100% (5名)			月1回の管理者会議にて確認をしている